

の 広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]



人口

— 1月31日現在 —

9,841人 男... 4,787人 女... 5,054人
世帯数..... 2,638
転入 43 出生 12
転出 43 死亡 7

“春の使者” ツクシ

春の使者・ツクシの坊やがニョッキリ。ボカボカ陽気に誘われ、大地から顔を出したのでしょう。子供たちは“春の先兵”を見つけて大はしゃぎ。小川の水や河原を吹き抜ける風も心なしか暖かみが出てきました。春はもうそこまできています。

第211号
昭和52年

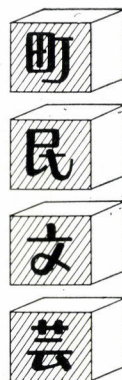
3月1日

おもな内容

- ☐ 完成間近か二つの施設.....(2)
- ☐ 3月30日が投票日(農業委員会委員).....(3)
- ☐ ムザムザ灰になんと13億円.....(4)
- ☐ 3月下旬から春の防犯運動.....(5)
- ☐ 町青年団が北海道研修生と交歓.....(6)
- ☐ 高森の歴史散歩・郷土の博物誌.....(7)
- ☐ “県ミス農協”に三森さん.....(8)

3月13日	後藤 藤 院
3月20日	平田 院
3月27日	馬原 院
4月3日	東 院

診療は午前9時から午後5時まで



俳句

全山を霧水に阿蘇の夜が明るく
旅人のすかさず阿蘇の樹氷撮る
せがまれて早々飾る雛人形
念入りに庭の掃除や日脚伸ぶ
ろくろ踏む手先冷めたく形どられ
陽を受けて庇をすべる雪の音
春浅き有田の町の窓煙
刻忘れ千代紙あそび大火鉢
久闊の華やぐ集い四温の日
孫よりの受話器に伝ふ風邪の声
矢の如き才月吾子の卒業す
子の便りすべて短信猫柳
雪深し見慣れぬ鳥の群も来て
よろこびの重なるたより春近し
吹雪く夜の炬に賑やかに地酒酌む
おみやげの夫婦茶碗や春隣
残雪の岩間岩間に陶の里
将棋板囲む倉子等日脚伸ぶ

肥後狂句

受験生 夜食気遣う親心
シヨック 見合い写真にや無ア入れ眼
団地 夫婦喧嘩のおめかれん
シヨック 非公認から蹴落され
急カーブ 初心者マーク手古摺らせ
団地 青空市場むぞがらす
正月どま 顔も飾ってみんなか媽

林田 一声
岡本 琴司
浦塚 南天
田上 黙公子

内田 文子
松岡 信子
那須 きぬ子
桐原 寿
林 久恵
柴田 ふい子
古庄 泰子
平田 るり子
山村 ふみ子



雑詠

人生行路

上色見 後藤 嘉平(86)
稀に見る寒波に死や傷むらん
あわてずに咲けよわが庭の梅
〇ふでとれば年も忘れて若がり
ぐちも引つ込み生がいを思う
〇メイドよりやがて迎える舟車
せめて初段を手みやげにほし
〇陰しかりし米寿の坂も越えにけ
わが着く宿は久住なるかな
〇初段とは思ひもよらぬまだやれぬ
百まで生きて待つがよい

八十三の手習い

社倉 今泉多美江(83)

急カーブ 五十過ぎるといかにんばい
正月どま 銭の方から惚れんどか
シヨック スリがボーナス凌えとる
急カーブ 吊皮の手に又さわり
シヨック こらアコーラも飲めんばい
団地 五門風呂の据えられん
急カーブ 又助手席イ抱きつかれ
林田 黙公子
馬原 馬笑
林 不
田上 黙公子

おめでた おくやみ

出生	住所	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
森	坂本	博之	由香	女	52.1.5
横町	吉里	俊光	晴玲	女	52.1.14
昭和在	緒方	三郎	玲二	男	52.1.15
上前	野尻	光雄	誠智	男	52.1.14
下原	岩下	茂己	智倫	男	52.1.20
旭通	森	充弘	智教	男	52.1.26
西丁	白石	さよ子	さおり	女	52.1.23
永野	山室	説生	美緒子	女	52.2.5
草部	伊藤	房光	穂生	女	52.1.13
永野	佐藤	徹	誠生	男	52.1.19
中	甲斐	武範	幸久	男	52.1.24
矢津	今村	廣一	千春	女	52.1.26
菅山	池田	次男	裕美	女	52.1.31
菅山	甲斐	春喜	久美	女	52.1.31
河原	富永	栄一	美子	女	52.2.2
	吉良	山賢吾	和博	男	52.1.21

死 亡						
住所)	(遺 族)		(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死 年 月 日)
村 山	田上喜久郎	祖母	田上ハツエ	85	52.1.18	
昭 和	赤尾 シゲ	夫	赤尾 覚	77	52.1.19	
旭 通	桐原 セキ	夫	桐原 禮三	81	52.2.12	
菅 口	甲斐スエヲ	夫	甲斐 只光	71	52.2.6	
菅 山	富永 キミ	夫	富永 覚	75	52.2.12	
菅 原	下田 暎雄	祖母	下田ツルエ	81	52.1.24	
尾 下	瀬井 浪夫	母	瀬井ミカサ	77	52.2.8	
尾 下	田上七十三	祖母	田上チヨカ	91	52.2.14	

(ご) (寄) (付)

ありがとうございます

〈香典返し〉

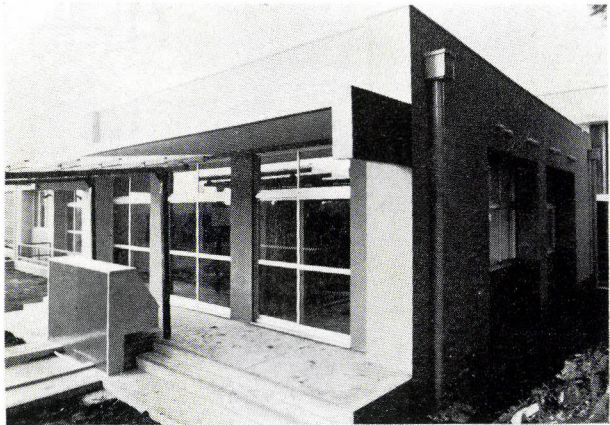
- ▽高森昭和の赤尾シゲさんから(夫、覚さん・77歳死去)
- ▽高森村山の田上喜久郎さんから(祖母、ハツエさん・85歳死去)
- ▽河原の下田賊雄さんから(祖母、ツルエさん・81歳死去)
- ▽尾下多々野の瀬井浪夫さんから(母、ミカサさん・77歳死去)
- ▽その他
- ▽草部の興福吾一さんから病氣見舞いの返礼として

完成間近か二つの施設

五十一年度もいよいよ終りに近づきました。町の建設諸事業も工事の仕上げ段階に入ったところ。本年度中に投資を予定しているのは、ざっと五億五千二百万円。このうち、いま急ピッチをあげている福祉施設を二つほど紹介してみよう。

草部保育園

四月からの開園に首を長くして



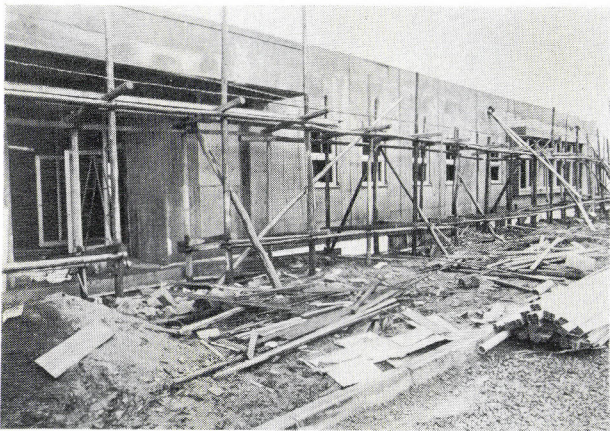
ほぼでき上がった草部北部保育所

待っているのが草部北部保育園の園児たち。同園は「幼ない子らが楽しい集団生活で、明るく健康に育つように」と、三年前 地区

四月早々にも開園へ

町民センター

レクリ、研修に広く活用



急ピッチで建設が進む町民センター

草部北部保育所

使っていたため手狭で、新しい保育園の建設が望まれていました。場所は草部中学校前の県道沿い。九百九十平方分の敷地に、鉄筋平屋建て(延べ百八十九平方分)がすでに完成。いま運動広場づくりの最中。新しい保育園には二クラスが使える保育室をはじめ、乳児保育室、休養室、給食室などがあります。総工費は約二千五百万円。備品として机、椅子、オルガン、放送設備がそろうほか、スベリ台、ブランコなどの遊具も購入されます。

町民センター

昨年の十月から高森昭和の中川原団地内に着工した町民センターは外観がほぼ出来上り、内装工事が入りました。白水村に老人いこの家ができたのをきっかけに、町内の各種団体から「町民のだれもが気軽に利用できる福祉施設を建設してほしい」と、いう要望が出されていました。

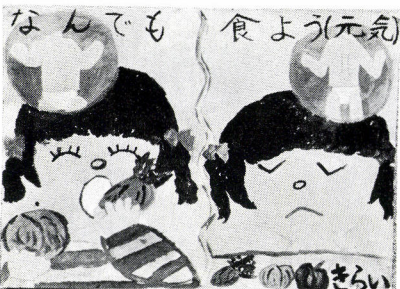
この町民センターは、老人、主婦、青年など、すべての町民が教養の向上やレクリエーションの場として利用できる多目的な施設です。鉄筋コンクリート平屋建て、六百七平方分、総工費は六千六

町誌編さんはじまる

資料を貸してください

町では、ことが町村合併二十周年にあたるため、その記念事業の一つとして町誌編さんを進めています。内容は町行政の移り変わりを中心に、教育、文化、産業などの変遷を取り上げ、町民はもとより、だれにでも理解できるものを企画しています。執筆には今村教育長ほか五人の編さん委員があたっており、本年度中に原稿を完成して印刷、五十二年春には発刊をみる予定です。現在資料集めを行っています。この編さんには、みなさんの協力が望まれるところですが、明治初年ごろから大正、昭和にかけての町(村)勢、事件、行事のわかる文書や写真などの資料があります。もしご提供くださるようお願いいたします。

みんなの広場



「給食ポスター」
高森小 4年 上田 智子

K氏の信念に学ぶ

津留 馬原 範三 (74)

二月六日、K氏と姉で約二時間ばかり語り合う本当によい機会を得た。こちらの方が十歳も年長であるのに、徹頭徹尾説教を受けているようで、久し振りに活気のある生きた話を老妻とともに聞いた。

百姓魂を打ち込んでいるK氏は、信念に満ちた一言半句がすばらしく、迷いが全く感じられない。百姓をするからには信念がなくてはならない。いまの百姓は迷っている者が多いようだ。その迷いはなにかから来ているのか。自分一代だけの百姓で、五年先、十年先が見えないようでは、あととりもだが、嫁にも来てがたいのは、

やむを得ない事実だ。

農村では、いま嫁がしに夢中になっているが、まず百姓をやる以上は(やらせる以上は)、農民道場で精神と肉体の鍛練を続けることだ。できるなら男も女も中学校を卒業と同時にやることだ。私もこの話の中から、かつての大津農学校が乙種の農学校として、土と魂の教育で天下に名をはせたころ、視察に数回行って驚いたことがある。

どこに行っても雑草が一本も見当らない。そのうえ野菜は青々と茂っているし、ミカンの木はびかびかと光っていた。なかなか難しいことではある

心臓手術の 献血に感謝

尾下 甲斐定国 (60)

このたび、娘りん子の心臓手術に際しましては、大勢の人から格別の献血をいただき誠にありがとうございました。

おかげでりん子は二月十六日、無事、手術を成功させることができました。町のはからいで広報の新年号に献血運動が掲載されると、さっそく沖繩の本田隆徳様をはじめ、鹿児島島の甲斐友文様、松橋の稲葉誠一様からも献血手帳の送付を受け、また町内の方々には忙しい時間を割いて献血のためにお出でいただくなど、ただ感謝のほかありません。

りん子の病状は重く手術の成功は期待薄といわれていましたが、幸いその後の経過も良好で、順調に快復に向っています。これひとえに神仏の加護と完成された近代医療の技術、設備に併せ皆様方の暖かいご協力の賜と信じます。ありがとうございました。

学校短信

各学校の三月行事を紹介します

- 【高森小】 〆十日 遠足
十八日 授業参観(五時間目)
このあと保護者会〆二十四日
卒業式〆二十五日終業式
- 【色見小】 〆十日 なわ
飛び大会〆十八日 学力テスト
〆二十二日 学習発表会〆
二十五日 卒業式
- 【上色見小】 〆九日 児
童会役員選挙〆二十五日 卒業式(予定)
- 【草部南小】 〆四日 持久走大会(約一き、全児童参加) 〆中旬 給食委員会
- 【草部北小】 〆五日 鹿本郡八幡小から学校視察〆八日 児童会役員選挙〆十六日 学習発表会〆二十五日 卒業式
- 【野尻小】 〆十五日午前九時半から学習発表会 午後はPTA総会 このあと高森署主催の防犯映写会を計画
〆十七日 お別れ遠足〆二十四日 卒業式(予定) 〆二十五日 終了式
- 【尾下小】 〆十五日午前中、学級懇談会と学習発表会
- 【河原中】 〆十四日 送別会〆十五日 謝恩会
- 【草部中】 〆十日〆十二日 期末テスト(一、二年生) 〆十四日 奉仕作業〆十五日 予銭会〆十七日 卒業式
- 【野尻中】 〆十七日 卒業式〆二十五日 終了式
- 【河原中】 〆十四日 送別会〆十五日 謝恩会

お知らせ

計量器の定期 検査受けよう

取り引き証明に使う計量器は、法律に基づく定期検査を受け合格しなければ使用できません。その検査がごしつ次の日程で行われますので、どんなに新しいハカリでも必ず検査を受けてください。

なお、検査の申込書は回覧で各家庭にまわすことにしています。

▽四月六日 役場草部出張所
▽四月七日 役場野尻出張所
▽四月八日 役場本庁

※時間は十時から十五時、本庁のみ九時から十五時。

県町民税の 申告相談へ

五十二年度の所得税、および町民税の納税相談が始まりました。申告書の書き方、所得の計算、諸控除の計算など不明な点があれば最寄りの会場でご相談になり、納得のいく申告をしてください。

三月の日程は次のとおりです。

▽五日 農協草部支所（九時～十六時）▽七・八日 役場会議室（九時～十六時）

時半～十六時）▽九・十日 野尻出張所（九時～十六時）▽十一日 河原小学校（九時～十六時）▽十二日 役場会議室（九時から十四時）

確定申告と納税 は3月15日まで

所得税の確定申告と納税の期限は三月十五日までです。また、申告と納税のお済みでない方は、期限までにお済ませください。

申告書はご自分で書いていただく

「県ミス農協」に三森さん



県ミス農協コンテストが一月二十一日、熊本市の鶴屋七階ホールで開かれ、高森町農協から出場した三森一江さん（二）が「ミス農協」に選ばれた。

県農協中央会と家の光協会の共催で毎年行われており、今年も十七回目。各地域から選ばれた二十五歳までの未婚女性二十五人について健康、教養、容姿など五項目の審査がありました。

三森さんは身長一六二センチ、体重五八キログラム。四人兄妹の中でただ一人の女の子。家庭はタバコ、陸稲、繁殖牛の複合経営農家。農協では販売指導課に勤務しています。写真が喜びの三森さん（読売提供）

熊本技能指導 所で生徒募集

熊本技能指導所は、五十二年度の生徒を次のとおり募集しています。

【募集科目】▽洋裁科（文化式一カ年修業）▽紳士服科（紳士服の縫製技術・三カ年修業）男女不問▽測量製図科（測量地形図設計のトレス・地図編集・一カ年修業）男女不問

【入所許可対象者】生活保護家庭

庭、保護施設事務費支出の特例対象者、身体障害者（手帳所持者）病弱者（結核予後者など）、母子家庭

【経費】入所料、授業料など全額免除。作業材料支給

詳しくは熊本市本庄二丁目三八 熊本授産場（096366251）へ。

国民年金保険料 月二千二百円に

国民年金の改正に伴って、国民年金保険料の額が、ことし四月から八百円引き上げられ、月額二千二百円（現在千四百円）に変わります。しかし付加年金にかかる保険料は従来どおり四百円です。

一人暮らし老人など 電話取付けで恩典

今回の電報電話料金制度の改正に伴い、ひとり暮らし老人宅などに設置する電話は「設備料の分割払い」と「電信電話債券の引受免除」が次のとおり実施されています。

【対象者】身心障害者、身体障害者、公病認定患者、六十五歳以上の老人、母子家庭、生活保護を受けている人

【対象となる設備料】住宅に設置する単独電話、二共同電話

【分割払いの期間】分割の回数は月単位で二回から十二回

※対象となる人で、この制度を利用される方は、認定の際に必要な書類がいります。詳しくは最寄りの電話局におたずねください。

16ミ映画ファイル ムを無料貸出し

国際協力事業団熊本支部（熊本市花畑町一番四号熊本東京生命館七階）では、南米各地で活躍する日系人の状況を描いた映画ファイルの無料貸出しをしています。ぜひご利用ください。また希望があれば、同支部が上映のための係員を派遣します。申し込みは熊本21315へ。

3月30日が投票日

町農業委員会委員13人を選挙

ことしの三月三十一日で三年間の任期が満了となる町農業委員会委員の選挙は三月三十日がその投票日に決まりました。

農業委員会は、農地の所有、転用、利用関係の調整に関する農地管理をはじめ、町への意見建議や農業経営、生活の改善、合理化な

ど農民の地位を守り、高めることを目的としています。高森町と高森署でも、これまで注意すれば絶滅できるもので、今更ながらドライバーへの安全教育の必要性が痛感されます。

高森町と高森署でも、これまで交通安全対策についてはかなりの努力を払ったつもりですが、今後さらに職場や地域での安全教育の再徹底策を考え直していただく

共済組合推薦の理事四人を除く十三人がこの選挙で選ばれるわけです。資格は満二十歳以上で十人以上の農地を耕作している経営主、年間通算六十日以上耕作に従事する配偶者、同居の親族となっています。なお、選挙区ごとの定数は次のとおりです。

▽高森地区 五人▽草部地区 四人▽野尻地区 四人

違法駐車に 厳しく対処

高森警察署

マイカーの普及に伴い町のいたるところで、違法駐車が目立ち始めました。

駐車禁止の標識のあるところはもちろんですが、最近では消火栓や防火用水の回りにも平気で車を止めるドライバーを見かけます。車によって道路を不法に占拠されると、道幅が狭くなり、交通事故を招きます。また、消火栓や防火水槽の近くに車があると、万一、火災が発生した場合に、初期消火活動にたいへん支障をきたす結果となります。

道路交通法によると、消火栓、指定防火水利の標識が設置されている位置、もしくは吸管投入孔から五メートル以内は駐車できません。とくに高森地区の片山嶺科入口や下町公民館前の禁止区域などには、常時車が止まっていますので、ドライバーのみなさんは自粛してください。なお警察では、これら法的禁止区域については巡回取締りを強化し、違法駐車車の摘発に乗り出す方針ですから十分注意してください。

法令講習や飲酒 追放にご協力を

謀運転は速度の出し過ぎや無理な追越しなど各運転者の一人一人が注意すれば絶滅できるもので、今更ながらドライバーへの安全教育の必要性が痛感されます。

高森町と高森署でも、これまで交通安全対策についてはかなりの努力を払ったつもりですが、今後さらに職場や地域での安全教育の再徹底策を考え直していただく

いと思います。次は町が重点をおいている交通事故の抑止対策です。みなさんの積極的な協力をお願いします。

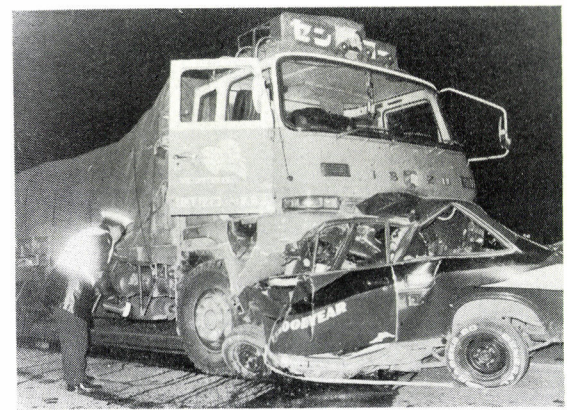
▼毎月一日、十日、二十日は交通安全の日です

に移してください。

▼飲酒運転追放運動の推進

重大事故の中には、飲酒運転をしていたとみられる人もあり、大事故を起す要因となっています。飲酒運転を追放するために、みな

危険！無謀運転



ことし1月、阿蘇町黒川の国道57号線で行った3人即死の現場（毎日提供）

無謀運転による交通事故死が後を断ちませんが、町では県と協力して現在事故防止対策の徹底を図っています。

五十一年度の県下の交通事故は件数、ケガ人とも前年に比べ減少

したもの、死亡者は逆に前年度を上回り、そのほとんどが先般の阿蘇町や芦北郡津奈木町で発生した若者の悲惨な死傷事故などいわゆる無謀運転による事故死といわれており憂慮すべき情勢です。無

ムザムザ灰に なんと13億円

—51年中の県下の火災—

犠牲者も増える傾向へ

原因、筆頭はタバコの火

春先きは、季節風が強く空気が乾燥して、一年中で最も火災が起りやすい季節です。
県下では、昨年一年間に五百九十四件の火災が発生、十三人が死亡、ケガは九十九人。損害額は十三億六千万円となっています。
こうした火災の原因は、タバコ、マッチ、たき火によるものが最も多く、そのほとんどが取扱いの不注意や不始末によるものです。火災によって死亡する人の大半は、煙による窒息や一酸化炭素

の有毒ガスによるものです。また火災のとき逃げ遅れがちな老人や幼児の死亡も増えているので気を付けたいものです。
火災を防ぐには、なんといっても皆さん一人一人が火の取扱いに気をつけることが大切です。火を出さないため、また万一不幸にして火災になったときの心構えとして、次のことを守ってください。
△火を出さないために▽
▽たばこの投げ捨てや寝たばこをしない。

- ▽ガスレンジ、ストーブなどの器具は正しく取り扱う。
- ▽火のそばは、きちんと整理して燃えやすいものは置かない。
- ▽外出するとき、就寝前には電気、ガス器具などのスイッチやコックの切り忘れ、閉め忘れがないか確かめる。
- △消火に備えて▽
▽常にバケツ一杯の水や消火器を用意しておく。消火器はその使用方法を心得ておく。
- △火災になったら▽
▽一刻も早く一九番へ地区名目録、状況をはっきり知らせる。
- ▽周りの人に大声で知らせ、小さい火であれば協力して消火する。ヤジ馬にならないように。

選挙・政治意識の調査まとまる

町選管 啓発活動に活用

町選挙管理委員会（後藤貞夏委員長）は、ことし成人を迎えた百十六人全員に対して、有権者となつての意識調査を行いました。このほど回答を寄せた二十一人の結果をまとめました。

▼役場は、はいりやすいですか
「はいりやすい」十八人、「はいりにくい」八人、「役場に行ったことがない」二人

▼「なんとなく型苦しく感じる」四人、「サービスピ精神にかけろ」二人、「不親切」一人、「じろろろ見られるから」一人、「課の配置がわからない」一人、「その他」四人

▼政治や選挙に関心や興味がありますか
「大変ある」三人、「少しある」九人、「あまりない」九人

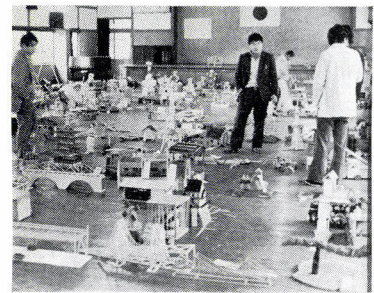
▼投票をする場合の決定は
「自分の意志」十九人、
「一番関心をもつ選挙は」
「衆議院議員」五人、「参議院議員」一人、「県知事」一人、「町長」三人、「町議会議員」七人、

▼選挙人名簿に登録されていないと投票ができないのを知っていますか
「知っている」十七人、「知らない」四人

▼自分の選挙権については
「必要だ」十二人、「必要ない」一人、「わからない」八人

▼選挙で選んだ代表次第で、国や地方の政治、あなたの生活がよくなると思いますか
「よくなる」八人、「ならない」四人、「わからない」九人

▼いまの町政は若い人の考えを取り上げていると思いますか
「思わない」五人、「わからない」十六人。



見事な出来ばえ

小中校の作品展審査

第二十三回阿蘇南部小中学校作品展（阿蘇南部教育研究会、図工美術研究会主催）の審査が二月九日、高森小学校講堂で行われました。三十六校から持ち寄った作品は、素材、意匠に工夫がこらされ、紙、段ボール、木、竹をはじめ、梱包用に使われる発泡（ほう）スチロール、飲料水の空びんなど多彩。広い会場には、低学年の動物、ロボットなど夢のあるものや、中学生の花びん、灰ザラ、打ち出し飾り、椅子など実用的な作品が並べられ審査にあたった先生もどれを特選にするか迷うほどの出来ばえでした。△写真は作品展の会場

高森の歴史散歩

□ 8

本 田 秀 行

前回まで草部の歴史を七回にわたり今村俊男先生にご執筆いただきましたが、今号から野尻地区の歴史を郷土史家で町誌編さん委員の本田秀行先生（高森横町）に書いていただくことになりました。今村先生のご協力に感謝いたしますとともに本田先生のご寄稿にも期待したいと思います。ご愛読ください。

野尻手永の私先祖について

野尻手永（現野尻・草部）の歴史資料に①寸志御家人（こけにん）先祖附（馬場、後藤家文書）②戸籍先祖帳、野尻手永（県立図書館）があります。

これには野尻手永百余家の歴史が書いてあり、その書き出しが「私先祖」とあります。この地域には昔からずつと住んでいた家も、他から移った家もあり、身分の格差もあったのでしょう。

しかし、寛永九年（今から三百四十五年前）、細川氏が入国すると、在地の者はすべて御百姓（おひやくしやう）に落し、苗字（みょうじ）も名乗れず、刀も取り上げられ、一律に農民になってしまったのです。しかし、それから百五十年を過ぎるころから住民のうち、由緒もあり人物もすぐれ、し

かもその上に、多額の献金をした者に、その金額に相当した身分を与え始めたことです。

それは藩の財政が窮迫して、正規の年貢米徴収のほかに収入をはかる必要があったからです。この献金を寸志（すんし）といい、これによって身分を得た者を寸志御家人といひます。

この寸志御家人の最も多く出たのは文化年間（百七十年ほど前）と、慶応年間（百年ほど前）です。こうして得られた身分は、寸志の金額によって格差があります。大別すると、①御惣庄屋御直触（おそうじやうやおおじきぶれ）②御郡代衆御直触③地侍（ちぎむらい）一領一疋（いちりょういっぴき）と、四段階になります。こうして得た資格は、相続する

ことができず、子が親跡を継ぐ場合には継目寸志が必要だったので。前にあげた御郡代衆御直触以上になると、苗字が許され帯刀することができました。

帯刀した者に道の途中で会った

郷土の博物誌

18

さすがの阿蘇も三月の声を聞くと、空の色や日ざしも春めて残雪ががすり模様を描く大地にさえ、なんとなくぬくもりが感じられる。

さて、春の野の花の中で、一番春の花らしい感じのものを一つだけ選べと言われたら、私はやはり、サクラソウだといいたい。

サクラソウ



それは花そのものがいかにも春の花らしい感じにあふれていることにもよるが、それよりも産毛につつまれた、どちらかといえば、ちょっと白っぽい緑の葉の感じが、私のもつ春のイメージにぴった

りするからであろ。うか。そして、まだ枯草の方が多い早春の野に、この淡い緑の葉とピンクの花が輪になって、あちこちから「もう春

百姓は道を避けてあいさつをしたものです。
この御家人という身分の者は、藩庁に自分の家の由緒書を定期的に提出しなくてはなりません。それをまとめたのが、始めに挙げた文書なのです。

なお村には庄屋（しやうや）がいて民政上のあらゆる世話をしていたのですが、これは村民の選挙により、それを御惣庄屋（手永の長官）が任命したので、身分上の

おわびと訂正

前号の「高森の歴史散歩」の中で日本書紀が日本書記に、健甕命（たけいわたつのみこと）が建甕命（たていわたつのみこと）にあやまって印刷されていました。おわびして訂正いたします。

しかし、この花も最近めっきりと少なくなり、限られたところに少しばかり余命を保っているに過ぎない。草地を改良したり、また草刈りを行わず放置したりするのはいけなしいし、土壌が肥沃で少し湿り気のあるところと、成育条件も特性を要するので、その保護はなかなか難しい。

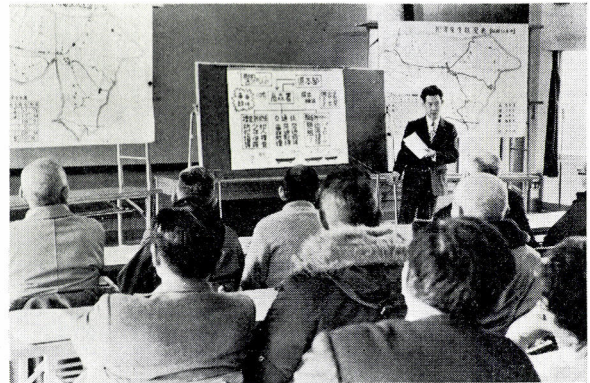
阿蘇でも野尻を中心とする山東部の原野だけが残らないのではないかと思われる。町は尾下の多々野に、野草園を計画されているが、こうした亡びつつあるものが残っている間になんとか早く実現してもらいたいと、その完成が心から待たれるゆえである。（サクラソウ科）

高森町文化財保護委員
佐藤 武之

意見、要望続々と

高森署が地区代表招き

警察と住民の懇談会



前中署長から警察業務を聞く住民たち

高森警察署主催による「警察と住民との懇談会」が二月七日から町内三駐在区で行われました。世の中が複雑になると、警察と住民の意志の疎通も欠けがち。そこで地域の警察行政がどうなっているかを地元住民に理解してもらい、交通事故や犯罪のない町づくりに協力してもらおうというのがねらい。

高森地区は二月十四日午後二時から畜産センターで開かれ、警察側から前中署長ほか外勤係四人。住民側は各事業所、婦人会、老人クラブなど多彩。代表約六十人が出席。前中署長から警察機構のあらまし、交通事故の原因、警察業務などの説明が行われ、内田収入役の司会で懇談に移りました。土木業者から指名手配強化月間などで、従業員の名簿を作成して提出したいという申し出をはじめ、捜査に協力したいが、証人として何度も呼び出されるのがやっかい。

自宅で事情聴取はできないものか。列車の中でタバコを吸う高校生を見かける。もっと少年非行に力を。交通違反をなくすため、モニターによる通報制度をつくっては。国道五七号線（立野付近）の道路拡張を警察でも関係機関へ陳情してほしい。などたくさん提案、要望が出されました。

盗難、家出など重点に

3月上旬から春の防犯運動

春は花見、行楽のシーズン、とかく家を留守にしがちです。また進学、卒業、就職など、とりこみの多い季節でもあります。そこで今年も3月上旬から4月下旬にかけて春の防犯運動を実施します。この運動は、盗難予防、家出少年の保護、暴力事犯の追放を重点に行います。

昨年一年間に本町で発生した窃盗や盗難は二十五件、内訳をみると窃盗十六件、忍び込み三件、事務所荒し三件、学校荒し二件、出店荒し一件となっています。期間中は高森署でも各地区のパトロールを強化し、犯罪の掃討につとめますが、みなさんも次の注意事項を守り、防犯運動の推進に協力しましょう。

協力しましょう。

○戸締まりを忘れないように留守家庭をねらう空き巣などがふえます。外出時、お休み前には、もう一度戸締まりを確かめましょう。

○家出の防波堤は、あなたの家庭にあります。春は子供たちの心に動揺を与える時期です。親子の対話の機会をふやし、心の通った家庭づくりに努めましょう。

○暴力や痴漢を追放しよう。

小さな暴力でも見たり聞いたりした場合は、泣き寝入りせず、すぐに警察に知らせましょう。暴力には、あなたの勇気が必要です。春さきになると痴漢が出没します。そこで①身なりをきちんとする②暗い夜道の一入歩きはさける③甘い誘いに乗らない④身体にさわられたら、はっきり注意する⑤しっかり戸締まりして休むなど痴漢防止の五則を守りましょう。

不審な飲み物に注意

一月四日、東京都内において青酸入りコーラによる殺人事件が起き、続いて二月十三日には大阪府内でも同種の事件が起きています。そこで路上や公衆電話ボックス自動販売機などに放置された飲料水は飲まないようにしてください。また、不審な飲食物を発見したときは警察に届け出てください。



出かけたあとではもう遅い。お出かけ前に元栓、スイッチ、戸締りを

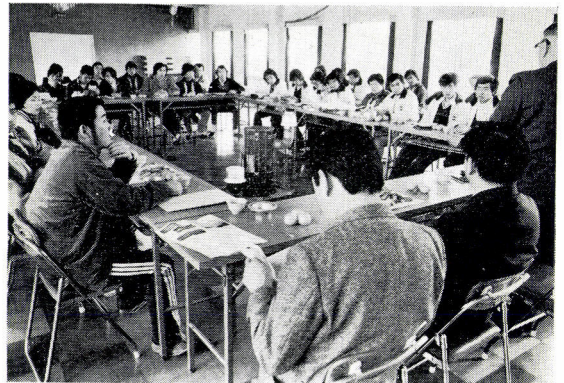
た。また上町の歩行者信号機から旭通へ抜ける町道と、片山歯科医院前の通路に防犯灯がないので危

険。深夜の風俗営業は近所に迷惑をかけているなどの苦情もありました。

北海道研修生が来町

農業経営や仲間作りで

町青年と楽しく交歓



北海道研修生と町青年団の交歓会

北海道十勝西部の農業研修生と本町の青年団との交歓会が、一月二十三日畜産センターで行われま

した。同じ年代の若者が意見を出し合って、お互いの友情と理解を深めようという趣旨。



>8<

生き続ける差別意識

前号で日本の労働者の低い賃金相場を支えるのに被差別部落が利用されたといいました。このことを農村に当てはめて考えますと、戦時中土地を持たなかった農村部落の人たちは、たと

えやせた土地でも高い小作料を出して小作をさせてもらわなければ生活ができなかったのです。ですから社会の中で被差別部落があることで、小作料は安

くなるどころか、自然に部落以外の農家も高い小作料を払わなければならなかったわけです。しかも米の値段は安いとあってはとても満足な生活は望めませんでした。このような中で、

大資本に送り出す仕組みが作り出されたわけです。都市でも多くの被差別部落の人たちが職をなくして、安い賃金に甘んじて職を見つけようと血まなこですすから、これも賃金

農村から都市の労働者になっていくものあるいは、若い女性の身売りなども出てきたわけです。つまり農村に被差別部落を残すことで、農民を安い賃金で

を低く押えるための「しずめ石」の役目になってきたのです。明治になってからも部落解放令は出されましたが、政府が本気で部落を解放する政治をしな

かったがために、今日までも差別が残っているのです。「放っておけば差別はなくなる」といいますが、厳に部落差別が生き

放っていることを考えたとき、放っておいては決して部落差別はなくならないのです。同和対策特別措置法が制定された理由

もここににあります。(狭間)

“獲物一匹” 高森小でウサギ狩り

一月二十九日高森小学校のウサギ狩りが南阿蘇国民休暇村の裏山一帯でありました。児童の耐寒訓練と体力づくりを目的に計画したもので、この日は四年生以上全員とPTA役員ら計二百六十人が参加しました。

午前六時半、棒や竹を手にし、弁当の入ったナツブサックを背ってグラウンドを出発した児童たちは、予定地点に着くと、先発の網番がいるところを、遠まきに包囲

したあと、先生の「よし」の合図で一斉にヤブを踏み越えて突撃を開始。「チョーイ、チョーイ」とセコを鳴らしたり、スピーカーで「ウワァー」と大声を上げながら、仕掛けられた網の中にウサギを追いまわりました。

は豊かとはいえない。嫁取りは深刻な問題だが、みんな若いのでまだ関心が薄い」と応えていました一方、北海道青年からも本町青年

年団体の組織づくりについて興味深く質問が出され、ジュースを飲みながらなごやかなひと時を過ごしました。



捕ったウサギに大喜びの子供たち